

# 補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	老人クラブ連合会運営費補助金	開始 年 度	昭和47年度
----------------	----------------	-----------	--------

団 体 名	函館市老人クラブ連合会
-------	-------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・老人福祉法(国) ・在宅福祉事業費補助金交付要綱(国) ・函館市補助金等交付規則 ・函館市老人クラブ運営費補助金交付要綱 ・函館市老人クラブ連合会運営要領
-------------------------	--

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	老人クラブに対する指導事業や、高齢者の社会活動促進に係る事業促進のほか、高齢化が進む社会情勢の中で高齢者のニーズに応えるため、地域のリーダー的人材を担う推進母体として諸事業を実施している老人クラブ連合会に補助する。 なお、国においては、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活援助という観点から、老人クラブの活動・役割に今後も期待しているところであり、市の事業に対し、国庫補助がある。
目 的	高齢者の社会活動を促進するため、老人クラブに対する指導事業および高齢者の幅広い社会活動促進のための諸事業を実施している連合会の健全な運営を期することを目的とする。
・ 効果	老人クラブならびに会員の高齢化社会に即応できる体質の改善と資質の向上、自らの生きがい創造の助長と積極的な社会参加に貢献しており、自主運営事業としての意識向上に繋がっている。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収    入	21	8,618	372	4,130	2,885	71		16,076
	22	8,248	356	3,847	2,823	102		15,376
	23	8,486	356	3,172	2,637	147		14,798
	24	8,365	290	1,785	2,536	156		13,132
	25	8,127	361	3,093	2,490	237		14,308
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21	4,695	874	9,571	833			15,973
	22	4,442	772	9,251	763			15,228
	23	4,878	628	8,412	723			14,641
	24	4,839	828	6,521	704			12,892
25	4,897	654	8,060	697			14,308	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	老人クラブ連合会運営費補助金
----------------	----------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	老人クラブは、市内全域で地域を基盤に高齢者の自主的な参加で組織されている。社会奉仕活動のほか、高齢者の孤立を防ぐための活動など、地域社会に貢献しており、地域のリーダーとなるような高齢者の育成を担う連合会の役割は重要である。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平成20年4月に連合会への支援強化を行う旨の国からの通知を受けており、国庫補助金の補助対象軽費も拡大している。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各種事業や組織運営など自主的に行われている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	組織として成立し、自主性を損なうことなく活動するために有効である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	人件費に対する補助があるため、1/2を超えているが、高齢者を主体とする介護予防、相互の生活支援の活性化を図るためにも安定した事務局の体制維持は必要であるほか、国も連合会の重要性を認識し財政支援しているものであり、今後も補助を継続する。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	老人クラブ連合会運営費補助金
----------------	----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副会長会議・理事会・評議員会・専門部会・女性部代表者会議・各種サークル活動運営委員会の開催</li> <li>・奉仕活動への参加</li> <li>・研修会の実施・参加</li> <li>・健康づくり事業の実施</li> <li>・サークル活動</li> </ul>
(達成状況)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・奉仕活動 (春・秋のクリーングリーン作戦参加, 老人クラブ社会福祉の日)</li> <li>・研修会実施・参加 (5 研修会参加282人, 女性部研修会参加128人)</li> <li>・健康づくり事業実施 (ゲートボール大会開催15チーム, 定期講習会・ブロック研修会開催, ニュースポーツ用具を活用したスポーツの促進)</li> <li>・サークル活動 (ダンス・カラオケ・舞踊・華道・保健推進登録者延べ204人)</li> <li>・広報活動 (函老連だより発行12月, 3月各8000部)</li> <li>・老人福祉大会の実施 (参加者800人)</li> </ul>

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">十分効果をあげている</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">一定の効果をあげている</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効果が疑問である</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">その他</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	十分効果をあげている	<input checked="" type="checkbox"/>	一定の効果をあげている	<input type="checkbox"/>	効果が疑問である	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	
十分効果をあげている	<input checked="" type="checkbox"/>								
一定の効果をあげている	<input type="checkbox"/>								
効果が疑問である	<input type="checkbox"/>								
その他	<input type="checkbox"/>								

## ○今後の方向性

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">現行のまま補助を継続</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">見直したうえで補助を継続</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">廃止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">その他</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	現行のまま補助を継続	<input checked="" type="checkbox"/>	見直したうえで補助を継続	<input type="checkbox"/>	廃止	<input type="checkbox"/>	その他	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">(見直しの内容)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">今後も安定的な運営を図るとともに, 補助対象経費の見直しを検討する。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">(見直しの時期)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">平成27年度</td> </tr> </table>	(見直しの内容)	今後も安定的な運営を図るとともに, 補助対象経費の見直しを検討する。	(見直しの時期)	平成27年度
<input type="checkbox"/>	現行のまま補助を継続												
<input checked="" type="checkbox"/>	見直したうえで補助を継続												
<input type="checkbox"/>	廃止												
<input type="checkbox"/>	その他												
(見直しの内容)													
今後も安定的な運営を図るとともに, 補助対象経費の見直しを検討する。													
(見直しの時期)													
平成27年度													
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">(廃止の理由)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">(廃止の時期)</td> </tr> </table>	(廃止の理由)	(廃止の時期)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">(その他の内容)</td> </tr> </table>	(その他の内容)									
(廃止の理由)													
(廃止の時期)													
(その他の内容)													

## ○終期の設定

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">終期設定</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">平成27年度</td> </tr> </table>	終期設定	平成27年度	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">終期到来により廃止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="padding: 2px;">終期到来時に再検討</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	終期到来により廃止	<input checked="" type="checkbox"/>	終期到来時に再検討	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">次回チェック年度(予定)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">平成27年度</td> </tr> </table>	次回チェック年度(予定)	平成27年度
終期設定										
平成27年度										
<input type="checkbox"/>	終期到来により廃止									
<input checked="" type="checkbox"/>	終期到来時に再検討									
次回チェック年度(予定)										
平成27年度										

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	地域組織活動費補助金	開始 年度	昭和49年度
----------------	------------	----------	--------

団体名	母親クラブ (市内27か所)
-----	----------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・子育て支援交付金交付要綱 (国) ・函館市補助金等交付規則 ・函館市地域組織活動費補助金交付要綱
-------------------------	--

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館市内27か所の児童館等を拠点に、児童館と連携した事業を展開するほか、地域で子ども達の健全育成のためのボランティア活動を行っている。
目 的	(目的) 地域母親等の親睦と協力を基礎とし、心身ともに健全な児童を育成するための正しい知識と技術を身につけることで母親としての資質向上を図るとともに、地域で子ども達を育み、子育て支援の活動を積極的に行う事で児童福祉の向上を図る。
・ 効果	(効果) 餅つき会や季節の行事等での世代間交流、子育て支援に係る講演会などの研修やお祭りの見回り、児童公園の遊具点検などを行っており、児童の健全育成、子育て支援の活動として地域に定着している。

## ○補助事業の収支状況 (平成24年度より2クラブ増加し、27クラブ) (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	行事参加費等	計
		市	その他					
収     入	21	4,725	495		594	13	998	6,825
	22	4,725	495		553	12	1,089	6,874
	23	4,725	520		559	15	1,246	7,065
	24	5,103	595		554	25	1,332	7,609
	25	5,052	590		504	117	1,228	7,491
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		503	5,872	450			6,825
	22		486	5,938	450			6,874
	23		462	6,228	375			7,065
	24		490	6,714	405			7,609
25		516	6,570	405			7,491	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	地域組織活動費補助金
----------------	------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	母親クラブ(通称)は、函館市内の27の児童館等を拠点に児童館と連携した事業を展開するほか、地域で子どもたちの健全育成のための様々なボランティア活動を行っている。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	近年の核家族化、少子高齢化、地域のつながりの希薄化など、子どもを取り巻く環境は変化し、地域で子どもたちを育み、子育て支援を行う活動が一層重要となってきたため。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域の母親等がボランティア活動をするにあたっては、補助金の継続が無ければ今後の活動は非常に難しい。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自主的な活動を尊重しながら補助金として支出することが最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	当該団体は、ほぼ当市からの補助金により運用されており、1/2を団体が負担することは、団体の性質上困難である。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	地域組織活動費補助金
----------------	------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

主な活動として

- ①親子および世代間の交流事業または文化活動
- ②児童養育に関する研修活動
- ③児童の事故防止等に関する活動
- ④その他児童福祉の向上に寄与する活動

(達成状況)

上記活動として、餅つき会や季節の行事等による世代間交流、子育て支援に係る講演会などの研修およびお祭りの見回りや、児童公園の遊具点検等を行っている。

年間活動実施回数および延参加人数 (H24)

実施回数 1, 751回      延参加人数 33, 529人

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



<p>(評価)</p> <p>十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>一定の効果をあげている <input type="checkbox"/></p> <p>効果が疑問である <input type="checkbox"/></p> <p>その他 <input type="checkbox"/></p>	<p>(理由)</p>
--	-------------

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	<p>(見直しの内容)</p> <p>補助対象経費の精査により補助割合の見直しを検討するとともに、当該補助金のあり方について検討する。</p> <p>(見直しの時期)</p> <p>平成27年度</p>
<p>(廃止の理由)</p> <hr/> <p>(廃止の時期)</p>	<p>(その他の内容)</p>

## ○終期の設定

<p>終期設定</p> <p>平成27年度</p>		<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討		<p>次回チェック年度(予定)</p> <p>平成27年度</p>
---------------------------	--	---	--	-----------------------------------

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	精神障害者ボランティア活動支援事業「陽だまり」活動費補助金	開 始 年 度	平成8年度
----------------	-------------------------------	------------	-------

団 体 名	特定非営利活動法人 恵愛会
-------	---------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・障害者自立支援法77条(国) ・函館市補助金等交付規則 ・函館市障害者地域生活支援事業実施要綱 ・生活支援事業実施要領(函館市ボランティア活動支援事業)
-------------------------	---

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	絵画・陶芸・手芸・クラフト教室, 史跡見学, 収穫祭等
目 的  ・ 効果	(目 的) 精神障がい回復者が多くの人々と触れ合い, 交流を深めながら, 創作活動, スポーツ, 研修等を通じて生活能力を取り戻し, 社会復帰できるよう支援していくことを目的とする。
	(効 果) 精神障がい回復者が, 多くの人々との交流の中で社会性や協調性を養うとともに, 社会復帰へ向けて, 様々な活動を通して知識や技術を身に付けることができている。

## ○補助事業の収支状況

(単位: 千円)

年度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
	市	その他					
21	216						216
22	216						216
23	216					4	220
24	216					28	244
25	216						216
年度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
21		6	210				216
22		22	194				216
23		13	207				220
24		3	241				244
25		30	186				216

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	精神障害者ボランティア活動支援事業「陽だまり」活動費補助金
----------------	-------------------------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	当該団体は精神障がい者の自助グループであり、広く精神障がい者の社会復帰促進に寄与している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	障害者自立支援法に基づく「地域生活支援事業」の市町村事業の一つとして、市の要綱に基づき補助している。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	対象が精神障がい者であり、無収入の者も多いことから会費は徴収しておらず、財源は補助金のみである。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	精神障がい者への支援であり、市の事業として委託化の検討余地がある。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	自主財源の確保が難しい事業であり、現在、収入はほぼ市補助金(国庫補助1/2)でまかなっている。平成27年度からは委託事業として実施するという方向で検討したい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

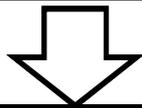
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	精神障害者ボランティア活動支援事業「陽だまり」活動費補助金
----------------	-------------------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
クラフト工芸・陶芸・手芸・パソコン等の創作活動 調理・家計管理・社会常識等の生活管理 ボーリング・散歩等のスポーツ活動 花見・史跡見学・収穫祭・クリスマス会等の行事
(達成状況)
精神障がい回復者が, 多くの人々と触れ合い交流を深めることで相互理解を促し社会性を身につけるとともに, 様々な活動を通して知識や技術を習得することで社会復帰の一助となっている。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 平成25年度から障害者総合支援法で新設・必須化された「自発的活動支援事業」に位置付けすることとし, 回復者クラブの自発的社会復帰活動の支援を業務委託する方向で検討する。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	
		平成27年度

# 補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	精神障害者ボランティア活動支援事業「回復者クラブ「プラタナス」」活動費補助金	開 始 年 度	平成11年度
----------------	--	------------	--------

団 体 名	プラタナス運営委員会
-------	------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者自立支援法77条(国)</li> <li>・函館市補助金等交付規則</li> <li>・函館市障害者地域生活支援事業実施要綱</li> <li>・生活支援事業実施要領(函館市ボランティア活動支援事業)</li> </ul>
-------------------------	--

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	ペットボトルキャップ・リングプル回収, 写真撮影, 写真技術の習得, 北海道精神障害者回復クラブ連合会総会および幹事会
目 的	(目 的) 精神障害回復者が, レクリエーションやボランティア等の活動を通じて見聞を広め, 社会と交流を持ち, それらを社会参加と自立促進へ繋げていくことを目的とする。
・ 効果	(効 果) 様々な活動によって知識や技術の習得が図られただけでなく, 多くの人々と交流を深めることで, 自立には不可欠である個々の責任感, 積極性, 連帯感を強めることができている。

## ○補助事業の収支状況

(単位: 千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	216			12	6	49	283
	22	216			11	12	4	243
	23	216			10	5	58	289
	24	216			9	4	73	302
	25	216			9	4	50	279
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		153	118				271
	22		117	121				238
	23		155	130				285
	24		183	119				302
25		149	130				279	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	精神障害者ボランティア活動支援事業「回復者クラブ「プラタナス」」活動費補助金
----------------	--

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明	
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該団体は精神障がい者の自助グループであり、広く精神障がい者の社会復帰促進に寄与している。	
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		障害者自立支援法に基づく「地域生活支援事業」の市町村事業の一つとして、市の要綱に基づき補助している。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		対象が精神障がい者であり、無収入の者も多いことから会費は低額であり、財源はほぼ補助金でまかなっている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	精神障がい者への支援であり、市の事業として委託化の検討余地がある。	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	自主財源の確保が難しい事業であり、現在、収入はほぼ市補助金(国庫補助1/2)でまかなっている。平成27年度からは委託事業として実施するという方向で検討したい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

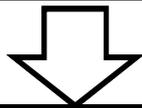
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	精神障害者ボランティア活動支援事業「回復者クラブ「プラタナス」」活動費補助金
----------------	--

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	北海道精神障害者回復クラブ連合会総会および幹事会への参加 写真・絵画作品展の開催
(達成状況)	精神障がい回復者が, 多くの人々と触れ合い交流を深めることで相互理解を促し社会性を身につけるとともに, 様々な活動を通して知識や技術を習得することで社会復帰の一助となっている。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 平成25年度から障害者総合支援法で新設・必須化された「自発的活動支援事業」に位置付けすることとし, 回復者クラブの自発的社会復帰活動の支援を業務委託する方向で検討する。 (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	在宅福祉ふれあい事業費補助金	開始 年 度	平成3年度
----------------	----------------	-----------	-------

団 体 名	社会福祉法人函館市社会福祉協議会
-------	------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・函館市在宅福祉ふれあい基金の設置および管理に関する条例, 条例施行規則</li> <li>・函館市補助金等交付規則</li> <li>・函館市在宅福祉ふれあい基金の設置および管理に関する条例に基づく補助金交付取扱要綱</li> </ul>
-------------------------	---

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	在宅福祉事業に要する経費を補助するため平成2年度に設置した在宅福祉ふれあい基金の原資および基金運用収入等をもって、概ね65歳以上の一人暮らしの者もしくは夫婦のみの世帯または心身の障がい等により日常生活に支障のある者がいる世帯などに提供する、在宅福祉ふれあいサービス事業、ボランティア地域援助活動支援事業、健康・生きがいがづくり推進事業、在宅福祉ふれあい事業の促進に関する事業に対し補助している。
目 的	(目 的) 地域住民の相互扶助の精神と福祉意識の高揚、高齢者等に対する良き隣人関係の醸成を基本理念に、民生委員、町会関係者、ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し、高齢者等が住み慣れた地域で、健康で生きがいを持ち安心して暮らせる地域社会の実現を図る。
・ 効果	(効 果) 社会福祉協議会が実施主体となり、町会単位で設置している在宅福祉委員会において、在宅福祉サービスを実施することにより、高齢者等の自立促進と社会参加、交流の深化を図り、地域に根ざした在宅福祉活動による地域住民相互の助け合いや思いやりの心が育成され、より一層の地域福祉の増進を図ることができる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	繰入金	計
		市	その他					
収	21	24,687					1,290	25,977
	22	25,028					1,351	26,379
	23	35,237					3,009	38,246
入	24	34,846					3,003	37,849
	25	36,170					3,112	39,282
支  出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		2,033	23,944				25,977
	22		1,755	24,624				26,379
	23		2,840	35,406				38,246
	24		2,876	34,973				37,849
	25		2,803	36,479				39,282

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	在宅福祉ふれあい事業費補助金
----------------	----------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域住民の相互扶助の精神と福祉意識の高揚、高齢者等に対する良き隣人関係の醸成を基本理念に、民生委員、町会関係者、ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し、高齢者等が住み慣れた地域で、健康で生きがいを持ち安心して暮らせる地域社会の実現に大きく貢献するものである。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢者等の自立促進と社会参加、交流の深化を図り、地域に根ざした在宅福祉活動による地域住民相互の助け合いや思いやりの心を育てていく役割を担っている。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各種事業や組織運営などは自主的に行われている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域性などによりそれぞれの在宅福祉委員会の活動等は画一ではなく、予算の執行についても柔軟な対応が必要とされる。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	在宅福祉の向上等を目的に交付された国の資金や市民からの指定寄付金を原資とした「在宅福祉ふれあい基金」の設置目的に沿った事業に対する補助であり、補助率を一部見直したうえで現行の補助を継続する。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

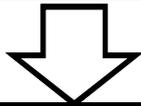
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	在宅福祉ふれあい事業費補助金
----------------	----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅福祉ふれあいサービス事業 (ふれあいサービス事業, 家事援助サービス事業, 給食サービス事業, 訪問理容美容サービス支援事業)</li> <li>ボランティア地域援助活動支援事業</li> <li>健康・生きがいがづくり推進事業 (老人花園菜園, 世代間交流支援事業, 健康・生きがいがづくり教室開催事業, おらがまちの達者自慢・働き自慢表彰)</li> <li>在宅福祉ふれあい事業の促進に関する事業 (協力員等の養成指導および研修事業, 広報事業)</li> </ul>	
(達成状況)	
平成24年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいサービス事業 123委員会 5,708世帯</li> <li>家事援助サービス事業 (家事 26委員会 185世帯, 除雪 37委員会 383世帯)</li> <li>給食サービス事業 124委員会 488回</li> <li>訪問理容美容サービス支援事業 対象者 20人</li> <li>ボランティア支援事業 34団体</li> <li>老人花園菜園 2箇所</li> <li>世代間交流支援事業 27回</li> <li>健康・生きがいがづくり教室開催事業 1回 (2日)</li> <li>おらがまちの達者自慢・働き自慢表彰 12人</li> <li>研修会開催事業 13回</li> <li>地域懇談会開催事業 4回</li> </ul>	

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	平成3年度に函館市社会福祉協議会が実施主体となり、民生委員、町会関係者、ボランティア等による在宅福祉委員会を組織し、ふれあいサービスや家事援助サービス等の事業を開始。平成5年度からは、在宅福祉に貢献するボランティア団体への支援や生きがいがづくり等の新たな事業を取り入れるなど、一層の地域福祉の増進を図っており、今後も福祉発展の効果が十分期待できる。

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 「函館市在宅福祉ふれあい基金」を活用した地域における福祉活動の促進を目的とした事業であることから、補助割合が2分の1を超えるものの、今後、現行の10分の10の補助割合の見直しを検討する。 (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由)  (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	公衆浴場活性化事業補助金	開 始 年 度	平成8年度
----------------	--------------	------------	-------

団 体 名	函館浴場協同組合
-------	----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・函館市公衆浴場活性化事業補助金交付要綱
-------------------------	-----------------------------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	施設の老朽化や利用者の減少により、浴場経営が困難な状況となっていることから、「確保法」に基づき、函館浴場共同組合が実施する活性化事業に補助金を交付し、公衆浴場の活性化を促し経営の安定化を図ることにより、住民の公衆浴場の利用機会を確保している。
目 的	(目 的) 函館市浴場協同組合が行う公衆浴場活性化事業（子供無料入浴事業、銭湯スタンプラリー事業、THE銭湯週間事業）対し補助金を支出し、市民が公衆浴場を利用する機会を喚起させることにより、公衆浴場の経営の安定化を図り、もって市民の保健衛生の向上に資することを目的としている。
・ 効果	(効 果) 公衆浴場の活性化を促し経営の安定化を図ることにより、公衆浴場の確保および市民の公衆浴場の利用機会を確保することで、保健衛生に寄与している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収	21	3,400			200			3,600
	22	3,200			200			3,400
	23	3,200			200			3,400
入	24	3,200			200			3,400
	25	3,200			200			3,400
	計							
	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
支	21			3,600				3,600
	22			3,400				3,400
	23			3,400				3,400
出	24			3,400				3,400
	25			3,400				3,400
	計							

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	公衆浴場活性化事業補助金
----------------	--------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施設の老朽化や利用者の減少により、浴場経営が困難な状況となっていることから、「確保法」に基づき、函館浴場共同組合が実施する活性化事業に補助金を交付し、公衆浴場の活性化を促し経営の安定化を図ることにより、住民の公衆浴場の利用機会を確保している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「確保法」に定める地方公共団体の任務として、公衆浴場の経営の安定を図る等必要な措置を講ずることが規定されている。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	公衆浴場利用者の減少は生活様式の変化や自家風呂普及率の向上によるものであり、業界団体等による自主改善は困難である。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「確保法」に基づく補助事業であり、自家風呂を有しない市民も少なからず存在することから、今後も必要な事業と考える。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	毎年、事業内容が異なることから積算基準は定めていないが、今後も効率的かつ実効性のある事業内容について浴場協同組合と協議し事業費の縮減に努めて参りたい。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	組合加入浴場が減少する中、組合拠出金の増額は困難な状況であり、組合拠出金を基礎とし補助割合を1/2以下とした場合の総事業費では、効果的な事業が見込めないことから、補助割合が補助対象経費の1/2を超えているが、今後、補助対象経費について見直しを行い、公衆浴場の経営の安定化を図りたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

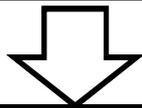
補助金名 (交付金名)	公衆浴場活性化事業補助金
----------------	--------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)  
 普通浴場数の推移  
 平成21年度 40浴場 廃業:2浴場 (楽園湯, 宝湯)  
 平成22年度 39浴場 廃業:1浴場 (大黒湯)  
 平成23年度 32浴場 廃業:7浴場 (ゆたか湯, 日乃出湯, 本通湯, 亀田温泉, 陣川温泉, 日の出湯, 松聖湯)  
 平成24年度 27浴場 廃業:5浴場 (大東湯, 若松湯, 豊作湯, 新川湯, 白山湯)

(達成状況)  
 事業を開始した平成8年当初, 市内の普通浴場(銭湯)は57浴場を数えたが, 現在では27浴場まで減少しており, 銭湯の無い地域が次々と発生していることから, 日常の入浴が困難となった市民が増えていると考えられる。  
 公衆浴場の廃業は自家風呂の普及が主な要因であり, 事業効果を公衆浴場数の推移で捉えれば不満は残るものの, 一方では自家風呂を持たず普通浴場(銭湯)に入浴の機会を求めている市民も存在することから, これら市民の入浴機会の確保について少なからず事業効果はあったものとする。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/>	自家風呂を持たず普通浴場(銭湯)に入浴の機会を求めている市民も存在することから, これらの市民の入浴機会の確保について少なからず事業効果はあったものとする。
一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 市民の保健衛生の向上に資するという公益性・公共性が高い事業であることから, 補助割合が2分の1を超えるものの, 今後, 補助対象経費についての見直しを検討する。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	
		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	農業地域リーダー育成研修事業費補助金	開 始 年 度	平成16年度
----------------	--------------------	------------	--------

団 体 名	函館市亀田農業協同組合
-------	-------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・函館市農業漁業地域リーダー育成研修事業補助金交付要綱
-------------------------	---

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	厳しい就労環境および高齢化による農業者・漁業者の担い手不足，消費者ニーズの多様化，生産者価格の低迷など，農業・漁業を取り巻く環境は厳しく，農家・漁家経営の安定化および農業・漁業就業者の資質向上，指導力の向上を図るため，補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 農業・漁業団体が次代を担う農業者・漁業者を育成するために実施する先進事例研修等の取り組みに対して支援することにより，地域農業・漁業における担い手育成の一層の促進を図ることを目的とする。
・ 効果	(効 果) 若い担い手農業者・漁業者に多くの見聞を広げて主体性を持たせることで，地域リーダーとして育成し，次代を担う農業者・漁業者の資質向上を図り，創意工夫に満ちた積極的な取り組みを行い，地域農業・漁業の発展に寄与する。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収     入	21	301					42	343
	22	325					20	345
	23	192					2	194
	24	171					8	179
	25	400						400
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21			343				343
	22			345				345
	23			194				194
	24			179				179
	25			400				400

# 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	農業地域リーダー育成研修事業費補助金
----------------	--------------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	次代を担う農業者・漁業者の育成を促進するために実施する研修事業であり、その研修成果を報告会等で発表し、地域農業者・漁業者へ広く啓発することで、地域の活性化を図る。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域のリーダー的農業者・漁業者を中心とした地域全体の創意と工夫に満ちた積極的な取り組みが必要であり、関係団体と連携し、次代を担う農業者・漁業者を含めた若い担い手の多くの見聞を拡げ、主体性を持たせることにより、地域リーダーとして育成することが重要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	次代を担う農業者・漁業者を含めた若い担い手である農業・漁業協同組合青年部が、主体的に先進事例研修等に取り組むことで地域漁業の担い手育成のより一層の促進を目指している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	先進地等の視察研修に係る経費を支援し、若い担い手に多くの見聞を拡げ主体性を持たせることで地域リーダーとしての育成に寄与するものであり、補助することが有効な手法である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	補助対象経費の100/100以内の額で研修対象者1名につき10万円を限度としているが、補助対象経費の全額または函館市職員等の旅費に関する条例の規定および取扱いにより算出した額から日当、食費に係るものを除いた額のいずれか低い額を補助対象としている。 今後、補助率の見直しについて、検討していきたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

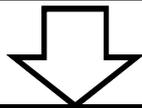
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	農業地域リーダー育成研修事業費補助金
----------------	--------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
地域リーダを育成することで, 創意工夫に満ちた取組をする。
(達成状況)
平成21年度からコントラクター組織の設立に向けて組織運営方法等の視察研修等を実施し, 平成25年度に農業の労働力不足を支援するコントラクター組織を設立した。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評 価)	(理 由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 事業費の精査により, 補助割合の見直しを検討する (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	漁業地域リーダー育成研修費補助金	開 始 年 度	昭和57年度
----------------	------------------	------------	--------

団 体 名	函館市漁業協同組合
-------	-----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・函館市農業漁業地域リーダー育成研修事業補助金交付要綱
-------------------------	---

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	厳しい就労環境および高齢化による農業者・漁業者の担い手不足，消費者ニーズの多様化，生産者価格の低迷など，農業・漁業を取り巻く環境は厳しく，農家・漁家経営の安定化および農業・漁業就業者の資質向上，指導力の向上を図るため，補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 農業・漁業団体が次代を担う農業者・漁業者を育成するために実施する先進事例研修等の取り組みに対して支援することにより，地域農業・漁業における担い手育成の一層の促進を図ることを目的とする。
・ 効果	(効 果) 若い担い手農業者・漁業者に多くの見聞を広げて主体性を持たせることで，地域リーダーとして育成し，次代を担う農業者・漁業者の資質向上を図り，創意工夫に満ちた積極的な取り組みを行い，地域農業・漁業の発展に寄与する。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収     入	21	1,062					408	1,470
	22	480					11	491
	23	300					24	324
	24	0					0	0
	25	300						300
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21			1,470				1,470
	22			491				491
	23			324				324
	24			0				0
	25			300				300

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	漁業地域リーダー育成研修費補助金
----------------	------------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	次代を担う農業者・漁業者の育成を促進するために実施する研修事業であり、その研修成果を報告会等で発表し、地域農業者・漁業者へ広く啓発することで、地域の活性化を図る。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域のリーダー的農業者・漁業者を中心とした地域全体の創意と工夫に満ちた積極的な取り組みが必要であり、関係団体と連携し、次代を担う農業者・漁業者を含めた若い担い手の多くの見聞を拡げ、主体性を持たせることにより、地域リーダーとして育成することが重要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	次代を担う農業者・漁業者を含めた若い担い手である農業・漁業協同組合青年部が、主体的に先進事例研修等に取り組むことで地域漁業の担い手育成のより一層の促進を目指している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	先進地等の視察研修に係る経費を支援し、若い担い手に多くの見聞を拡げ主体性を持たせることで地域リーダーとしての育成に寄与するものであり、補助することが有効な手法である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	補助対象経費の100/100以内の額で研修対象者1名につき10万円を限度としているが、補助対象経費の全額または函館市職員等の旅費に関する条例の規定および取扱いにより算出した額から日当、食費に係るものを除いた額のいずれか低い額を補助対象としている。 今後、補助率の見直しについて、検討していきたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

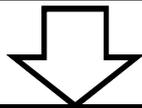
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	漁業地域リーダー育成研修費補助金
----------------	------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
<p>リーダー研修の成果を報告会等で発表し, 地域漁業へ広く啓発することで, 地域漁業者への研修成果の波及と青年漁業者の指導力の向上を図る。</p>
(達成状況)
<p>毎年度1～4漁業協同組合が本事業を利用して研修を実施しており, 研修報告会を開催し, 地域漁業者への普及啓発に一定の効果を得ている。</p> <p>平成24年度補助金額 300,000円          南かやべ漁業協同組合 60,000円×5名=300,000円</p>

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)								
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">十分効果をあげている</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">一定の効果をあげている</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効果が疑問である</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">その他</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	十分効果をあげている	<input checked="" type="checkbox"/>	一定の効果をあげている	<input type="checkbox"/>	効果が疑問である	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	
十分効果をあげている	<input checked="" type="checkbox"/>								
一定の効果をあげている	<input type="checkbox"/>								
効果が疑問である	<input type="checkbox"/>								
その他	<input type="checkbox"/>								

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">(見直しの内容)</div> <div style="padding: 5px;">事業費の精査により, 補助割合の見直しを検討する</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">(見直しの時期)</div> <div style="padding: 5px;">平成27年度</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">(廃止の理由)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(廃止の時期)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(その他の内容)</div>

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	漁業地域リーダー育成研修費補助金	開 始 年 度	平成17年度
----------------	------------------	------------	--------

団 体 名	えさん漁業協同組合
-------	-----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・函館市農業漁業地域リーダー育成研修事業補助金交付要綱
-------------------------	---

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	厳しい就労環境および高齢化による農業者・漁業者の担い手不足，消費者ニーズの多様化，生産者価格の低迷など，農業・漁業を取り巻く環境は厳しく，農家・漁家経営の安定化および農業・漁業就業者の資質向上，指導力の向上を図るため，補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 農業・漁業団体が次代を担う農業者・漁業者を育成するために実施する先進事例研修等の取り組みに対して支援することにより，地域農業・漁業における担い手育成の一層の促進を図ることを目的とする。
・ 効果	(効 果) 若い担い手農業者・漁業者に多くの見聞を広げて主体性を持たせることで，地域リーダーとして育成し，次代を担う農業者・漁業者の資質向上を図り，創意工夫に満ちた積極的な取り組みを行い，地域農業・漁業の発展に寄与する。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収 入	21	0					0	0
	22	0					0	0
	23	0					0	0
	24	0					0	0
	25	300						300
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21			0				0
	22			0				0
	23			0				0
	24			0				0
	25			300				300

# 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	漁業地域リーダー育成研修費補助金
----------------	------------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	次代を担う農業者・漁業者の育成を促進するために実施する研修事業であり、その研修成果を報告会等で発表し、地域農業者・漁業者へ広く啓発することで、地域の活性化を図る。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域のリーダー的農業者・漁業者を中心とした地域全体の創意と工夫に満ちた積極的な取り組みが必要であり、関係団体と連携し、次代を担う農業者・漁業者を含めた若い担い手の多くの見聞を拡げ、主体性を持たせることにより、地域リーダーとして育成することが重要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	次代を担う農業者・漁業者を含めた若い担い手である農業・漁業協同組合青年部が、主体的に先進事例研修等に取り組むことで地域漁業の担い手育成のより一層の促進を目指している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	先進地等の視察研修に係る経費を支援し、若い担い手に多くの見聞を拡げ主体性を持たせることで地域リーダーとしての育成に寄与するものであり、補助することが有効な手法である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	補助対象経費の100/100以内の額で研修対象者1名につき10万円を限度としているが、補助対象経費の全額または函館市職員等の旅費に関する条例の規定および取扱いにより算出した額から日当、食費に係るものを除いた額のいずれか低い額を補助対象としている。 今後、補助率の見直しについて、検討していきたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

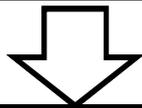
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	漁業地域リーダー育成研修費補助金
----------------	------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
リーダー研修の成果を報告会等で発表し, 地域漁業へ広く啓発することで, 地域漁業者への研修成果の波及と青年漁業者の指導力の向上を図る。
(達成状況)
毎年度1～4漁業協同組合が本事業を利用して研修を実施しており, 研修報告会を開催し, 地域漁業者への普及啓発に一定の効果を得ている。
平成24年度補助金額 300,000円 南かやべ漁業協同組合 60,000円×5名=300,000円

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(見直しの時期)	平成27年度
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	漁業地域リーダー育成研修費補助金	開 始 年 度	平成17年度
----------------	------------------	------------	--------

団 体 名	南かやべ漁業協同組合
-------	------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・函館市農業漁業地域リーダー育成研修事業補助金交付要綱
-------------------------	---

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	厳しい就労環境および高齢化による農業者・漁業者の担い手不足，消費者ニーズの多様化，生産者価格の低迷など，農業・漁業を取り巻く環境は厳しく，農家・漁家経営の安定化および農業・漁業就業者の資質向上，指導力の向上を図るため，補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 農業・漁業団体が次代を担う農業者・漁業者を育成するために実施する先進事例研修等の取り組みに対して支援することにより，地域農業・漁業における担い手育成の一層の促進を図ることを目的とする。
・ 効果	(効 果) 若い担い手農業者・漁業者に多くの見聞を広げて主体性を持たせることで，地域リーダーとして育成し，次代を担う農業者・漁業者の資質向上を図り，創意工夫に満ちた積極的な取り組みを行い，地域農業・漁業の発展に寄与する。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収    入	21	285					4	289
	22	288					1	289
	23	300					2	302
	24	300					326	626
	25	300						300
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21			289				289
	22			289				289
	23			302				302
	24			626				626
	25			300				300

# 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	漁業地域リーダー育成研修費補助金
----------------	------------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	<b>公益性</b> (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	次代を担う農業者・漁業者の育成を促進するために実施する研修事業であり、その研修成果を報告会等で発表し、地域農業者・漁業者へ広く啓発することで、地域の活性化を図る。
2	<b>必要性</b> (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域のリーダー的農業者・漁業者を中心とした地域全体の創意と工夫に満ちた積極的な取り組みが必要であり、関係団体と連携し、次代を担う農業者・漁業者を含めた若い担い手の多くの見聞を拡げ、主体性を持たせることにより、地域リーダーとして育成することが重要である。
3	<b>自主性</b> (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	次代を担う農業者・漁業者を含めた若い担い手である農業・漁業協同組合青年部が、主体的に先進事例研修等に取り組むことで地域漁業の担い手育成のより一層の促進を目指している。
4	<b>有効性</b> (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	先進地等の視察研修に係る経費を支援し、若い担い手に多くの見聞を拡げ主体性を持たせることで地域リーダーとしての育成に寄与するものであり、補助することが有効な手法である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	補助対象経費の100/100以内の額で研修対象者1名につき10万円を限度としているが、補助対象経費の全額または函館市職員等の旅費に関する条例の規定および取扱いにより算出した額から日当、食費に係るものを除いた額のいずれか低い額を補助対象としている。 今後、補助率の見直しについて、検討していきたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

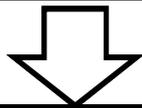
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	漁業地域リーダー育成研修費補助金
----------------	------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
リーダー研修の成果を報告会等で発表し, 地域漁業へ広く啓発することで, 地域漁業者への研修成果の波及と青年漁業者の指導力の向上を図る。
(達成状況)
毎年度1～4漁業協同組合が本事業を利用して研修を実施しており, 研修報告会を開催し, 地域漁業者への普及啓発に一定の効果を得ている。
平成24年度補助金額 300,000円 南かやべ漁業協同組合 60,000円×5名=300,000円

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(見直しの時期)	事業費の精査により, 補助割合の見直しを検討する
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	平成27年度

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金	開 始 年 度	平成17年度
----------------	------------	------------	--------

団 体 名	戸井漁業協同組合
-------	----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市漁業資格取得費補助金交付要綱
-------------------------	--------------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	厳しい就労環境および高齢化による漁業者の減少，消費者ニーズの多様化，生産者価格の低迷など，漁業を取り巻く環境は厳しいことから，漁家経営の安定化および漁業就業者の資質向上を図るため補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 漁業に必要な資格を取得するための経費を支援することで漁業就業者の確保と資質向上を図り，漁家経営の安定化を目的とする。
・ 効 果	(効 果) 漁業就業者の資質向上および漁家経営の安定化を図り，ひいては地域漁業の発展に寄与する。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収    入	21	0						0
	22	90						90
	23	60						60
	24	0						0
	25	60						60
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21			0				0
	22			90				90
	23			60				60
	24			0				0
	25			60				60

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金
----------------	------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	漁業者の高齢化、新規着業者の減少といった厳しい状況におかれている中で、本事業により漁業者の確保と資質向上を図ることは、漁獲量の増加に繋がることから、最大の消費者である市民への食の供給を維持・増大するという観点から適切であると言える。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補助が漁業者になる一つのきっかけとなることで漁業者の減少を緩和し、漁獲量を維持するために必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	総合的な漁業技術を習得する漁業研修に対し、独自に系統団体の補助制度を活用した中で助成を行っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	技術的な面から補助金以外の方法しかないのが現状である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	要綱では、補助対象経費の全額または30千円のいずれか少ない額としているが、全額補助となることはほとんどなく、多くの場合は補助対象経費120千円に対し30千円の補助であるため実質2分の1以内の補助となっている。 今後、補助率の見直しについて、検討していきたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

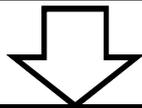
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金
----------------	------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
平成19年度	20名
平成20年度	12名
平成21年度	24名
平成22年度	32名
平成23年度	25名
平成24年度	8名
(達成状況)	
平成24年度においては8名が本事業を利用している。	
決算額 240,000円	函館市漁業協同組合 30,000円×1名 = 30,000円 えさん漁業協同組合 30,000円×1名 = 30,000円 南かやべ漁業協同組合 30,000円×6名 = 180,000円

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価) 十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	(理由) 漁業者の確保と資質向上を図る本事業を行うことによって、漁獲量の増加に繋がり、最大の消費者である市民への食の供給を絶やさずに行うことができているという観点から一定の効果をあげていると評価した。
---	---

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 上限額(30千円)は現行のままとするが、事業費の精査により、補助割合の見直しを検討する。
	(見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由)  (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定 平成27年度	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定) 平成27年度
----------------	---	------------------------

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金	開 始 年 度	平成17年度
----------------	------------	------------	--------

団 体 名	えさん漁業協同組合
-------	-----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市漁業資格取得費補助金交付要綱
-------------------------	--------------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	厳しい就労環境および高齢化による漁業者の減少，消費者ニーズの多様化，生産者価格の低迷など，漁業を取り巻く環境は厳しいことから，漁家経営の安定化および漁業就業者の資質向上を図るため補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 漁業に必要な資格を取得するための経費を支援することで漁業就業者の確保と資質向上を図り，漁家経営の安定化を目的とする。
・ 効 果	(効 果) 漁業就業者の資質向上および漁家経営の安定化を図り，ひいては地域漁業の発展に寄与する。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収     入	21	150						150
	22	420						420
	23	90						90
	24	30						30
	25	300						300
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21			150				150
	22			420				420
	23			90				90
	24			30				30
	25			300				300

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金
----------------	------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	漁業者の高齢化、新規着業者の減少といった厳しい状況におかれている中で、本事業により漁業者の確保と資質向上を図ることは、漁獲量の増加に繋がることから、最大の消費者である市民への食の供給を維持・増大するという観点から適切であると言える。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補助が漁業者になる一つのきっかけとなることで漁業者の減少を緩和し、漁獲量を維持するために必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	総合的な漁業技術を習得する漁業研修に対し、独自に系統団体の補助制度を活用した中で助成を行っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	技術的な面から補助金以外の方法しかないのが現状である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	要綱では、補助対象経費の全額または30千円のいずれか少ない額としているが、全額補助となることはほとんどなく、多くの場合は補助対象経費120千円に対し30千円の補助であるため実質2分の1以内の補助となっている。 今後、補助率の見直しについて、検討していきたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

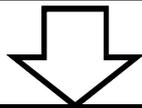
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金
----------------	------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
平成19年度	20名
平成20年度	12名
平成21年度	24名
平成22年度	32名
平成23年度	25名
平成24年度	8名
(達成状況)	
平成24年度においては8名が本事業を利用している。	
決算額 240,000円	函館市漁業協同組合 30,000円×1名 = 30,000円 えさん漁業協同組合 30,000円×1名 = 30,000円 南かやべ漁業協同組合 30,000円×6名 = 180,000円

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価) 十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	(理由) 漁業者の確保と資質向上を図る本事業を行うことにより、漁獲量の増加に繋がり、最大の消費者である市民への食の供給を絶やさずに行うことができているという観点から一定の効果をあげていると評価した。
---	--

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 上限額(30千円)は現行のままとするが、事業費の精査により、補助割合の見直しを検討する。 (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由)  (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定 平成27年度	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定) 平成27年度
----------------	---	------------------------

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金	開 始 年 度	平成17年度
----------------	------------	------------	--------

団 体 名	南かやべ漁業協同組合
-------	------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市漁業資格取得費補助金交付要綱
-------------------------	--------------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	厳しい就労環境および高齢化による漁業者の減少，消費者ニーズの多様化，生産者価格の低迷など，漁業を取り巻く環境は厳しいことから，漁家経営の安定化および漁業就業者の資質向上を図るため補助することとしたものである。
目 的	(目 的) 漁業に必要な資格を取得するための経費を支援することで漁業就業者の確保と資質向上を図り，漁家経営の安定化を目的とする。
・ 効 果	(効 果) 漁業就業者の資質向上および漁家経営の安定化を図り，ひいては地域漁業の発展に寄与する。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己資金	計
		市	その他					
収     入	21	540						540
	22	450						450
	23	330						330
	24	180						180
	25	540						540
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21			540				540
	22			450				450
	23			330				330
	24			180				180
	25			540				540

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金
----------------	------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	漁業者の高齢化、新規着業者の減少といった厳しい状況におかれている中で、本事業により漁業者の確保と資質向上を図ることは、漁獲量の増加に繋がることから、最大の消費者である市民への食の供給を維持・増大するという観点から適切であると言える。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補助が漁業者になる一つのきっかけとなることで漁業者の減少を緩和し、漁獲量を維持するために必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	総合的な漁業技術を習得する漁業研修に対し、独自に系統団体の補助制度を活用した中で助成を行っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	技術的な面から補助金以外の方法しかないのが現状である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	要綱では、補助対象経費の全額または30千円のいずれか少ない額としているが、全額補助となることはほとんどなく、多くの場合は補助対象経費120千円に対し30千円の補助であるため実質2分の1以内の補助となっている。 今後、補助率の見直しについて、検討していきたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

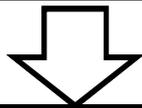
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	漁業資格取得費補助金
----------------	------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
平成19年度	20名
平成20年度	12名
平成21年度	24名
平成22年度	32名
平成23年度	25名
平成24年度	8名
(達成状況)	
平成24年度においては8名が本事業を利用している。	
決算額 240,000円	函館市漁業協同組合 30,000円×1名 = 30,000円 えさん漁業協同組合 30,000円×1名 = 30,000円 南かやべ漁業協同組合 30,000円×6名 = 180,000円

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	漁業者の確保と資質向上を図る本事業を行うことによって、漁獲量の増加に繋がり、最大の消費者である市民への食の供給を絶やさずに行うことができているという観点から一定の効果をあげていると評価した。

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 上限額(30千円)は現行のままとするが、事業費の精査により、補助割合の見直しを検討する。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	遠距離通学助成事業補助金	開 始 年 度	平成11年度
----------------	--------------	------------	--------

団 体 名	保護者個人
-------	-------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市立小学校児童及び中学校生徒通学費補助要綱
-------------------------	--------------------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	南茅部地域で、南北の距離が30kmを超えていること、これまでの学校統廃合の経過などを踏まえ、通学距離が小学校で4km、中学校で6kmを超える児童・生徒の保護者に対し、バス定期券相当額を補助している。
目 的	(目 的) 遠距離通学にかかる保護者の経済的負担の軽減
・ 効 果	(効 果) 遠距離通学にかかる保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な運営に資する。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	(補助人数)	計
		市	その他					
収     入	21	2,245					28	2,245
	22	1,772					21	1,772
	23	659					8	659
	24	756					9	756
	25	1,065					10	1,065
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		(補助人数)	計
	21			2,245			28	2,245
	22			1,772			21	1,772
	23			659			8	659
	24			756			9	756
	25			1,065			10	1,065

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	遠距離通学助成事業補助金
----------------	--------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	通学距離の基準を超える児童生徒の保護者負担を軽減するための事業であり、義務教育の円滑な運営に資するものである。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	学校統廃合により通学距離の基準を超える児童生徒の保護者負担を軽減するものであり、補助が必要な事業である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	通学費負担の軽減を図る事業であり、自主性を求めることはなじまない。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補助対象人数などの面から、現状では補助することが最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	補助要綱に基づき、公共交通機関の3か月通学定期券相当額(年4回)を補助している。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	遠距離通学助成事業補助金
----------------	--------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

遠距離通学に要する保護者負担の軽減を図るための補助金であることから, 効果の測定方法や具体的な数値等を示すことは困難だが, 平成24年度の当該補助金額と, 対象地域の近隣で運行業務の委託を行っているスクールバスの平成24年度経費を比較する。

(達成状況)

H24 補助金額 756千円 < H24 スクールバス運行委託料 7,031千円  
(小学生8人, 中学生1人) (小学生38人, 中学生6人)

※比較のスクールバスについて  
木直・磨光小の統合に伴い, 平成23年度より旧木直小地区の児童, および遠距離通学となる尾札部中生徒を対象として, 古部～磨光小間を登・下校時に通常各1便運行。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

	(評価)	(理由)	
	十分効果をあげている	<input checked="" type="checkbox"/>	
	一定の効果をあげている	<input type="checkbox"/>	
	効果が疑問である	<input type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続		(見直しの内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続		補助基準の見直しについて, 併用する手段, 利用日数等の実態を踏まえたうえで, 今後の市全体の公共交通のあり方も考慮しながら, 検討を進める。
<input type="checkbox"/> 廃止		(見直しの時期)
<input type="checkbox"/> その他		平成27年度
(廃止の理由)		(その他の内容)
(廃止の時期)		

## ○終期の設定

終期設定		<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止		次回チェック年度(予定)
平成27年度		<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討		平成27年度

# 補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市社会福祉協議会補助金	開始 年 度	昭和43年度
----------------	---------------	-----------	--------

団 体 名	社会福祉法人 函館市社会福祉協議会
-------	-------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人の助成に関する条例</li> <li>・社会福祉法人の助成に関する条例施行規則</li> <li>・函館市社会福祉協議会補助金交付要綱</li> </ul>
-------------------------	--

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市民に密着した地域福祉を推進するとともに、市の福祉行政を補完する役割を担う函館市社会福祉協議会に対し、その運営費を補助する。
目 的	(目 的) 身近な地域で取り組む福祉活動の充実・活性化など、市民に密着した地域福祉を推進する施策を主体的に取り組むため。
・ 効果	(効 果) 財政基盤の乏しい同法人の経営を安定させることによって、種々の福祉サービスの提供が可能となり、市民福祉の向上に寄与している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入等	会 費	寄付金	経理(会計) 区分間繰入	施設整備・ 財務活動		計
		市	その他							
収    入	21	133,993		829	1,311	6,441	35,241	11,808		189,623
	22	130,959		3,346	1,052	7,117	30,101	13,787		186,362
	23	137,326		1,103		5,940	42,111	11,371		197,851
	24	130,360		694		5,805	18,892	40,488		196,239
	25	123,997		543		3,786	26,516	838		155,680
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費	経理(会計) 区分間繰入	施設整備・ 財務活動		計
	21	145,989	21,074	5,406	180	1,303		12,895		186,847
	22	152,857	21,155	6,162	180	1,281		14,161		195,796
	23	155,575	19,839	5,532	180	1,751		12,067		194,944
	24	145,126	17,989	6,252	180	1,565	4,555	27,350		203,017
25	131,795	15,044	6,457	180	1,784		7,993		163,253	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市社会福祉協議会補助金
----------------	---------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会福祉協議会は、社会福祉法で地域福祉の推進する団体として位置づけられており、市民福祉の向上を図るため「共に支え合い安心して暮らせるまちづくり」を基本理念として様々な事業を行っている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会福祉協議会は、公益団体であり市の福祉行政を補完する役割を担うことから、一定程度の補助は必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自主財源確保のため、介護保険事業の展開を図るとともに、寄附金や会費増に向けた取り組みを進めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ボランティア養成など身近な地域で取り組む福祉活動の充実などの施策を主体的に取り組んでいることから、補助金によることが有効である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	本市の地域福祉の推進を図るうえで、中心的な役割を担う社会福祉協議会の運営の円滑な遂行を確保するため、法人運営に関わる人件費および事務経費に対して補助しているが、自主財源が乏しいことから補助対象経費の1/2を超えている状況にある。今後は同法人の経営改善計画の策定を進めるとともに積算内容の見直しを検討していく。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	昨今の地域経済の低迷や町会加入者の減少などにより、会費収入や寄附金収入は減少傾向にあるが、今年度中に経営改善計画を策定し会費収入のあり方等の見直しを進めていく。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

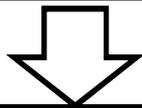
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市社会福祉協議会補助金
----------------	---------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
<p>社会福祉協議会の事業実施の目的は, 地域福祉の推進という漠然としたものであり, 具体的な数値等で示すことが難しいため, 実施事業の中で数値として表すことのできる, 会員数とボランティア団体登録数を指標とする。</p>
(達成状況)
<p>会員数: 150町会(一般), 360会員(賛助, 団体, 特別)                  ボランティア団体数: 168団体                  ※平成24末現在</p>

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価) 十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	(理由)  人口減少や町会加入者減少という状況の中で, 地域福祉の推進という観点では, 一定の効果を上げていると考える。
---	--

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容)  これまでも見直しをしてきた補助金であるが, 今後も経費節減や事務事業の見直しとともに, 補助対象人数の見直しを図るなど, 補助金の縮減に努める。
(廃止の理由)	(見直しの時期) 平成27年度
(廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館国際観光コンベンション協会補助金	開 始 年 度	昭和10年度
----------------	--------------------	------------	--------

団 体 名	一般社団法人 函館国際観光コンベンション協会
-------	------------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・函館国際観光コンベンション協会補助金の交付基準
-------------------------	--

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	同協会の事業費および管理費のうち人件費（ただし、役員報酬を除く）にかかる補助金である。
目 的	(目 的) 本市の観光振興および地域経済活性化のため
・ 効 果	(効 果) 本市の観光行政推進に対する協力・支援，観光産業の活性化および地域経済の振興

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		会 費	その他	繰越金		計
		市	その他					
収    入	21	33,900	460	19,975	33	1,633		56,001
	22	34,400	317	18,555	308	2,541		56,121
	23	34,400	138	18,444	21	3,695		56,698
	24	34,400	0	20,095	1,003	4,591		60,089
	25	34,400	650	21,100	10	1,332		57,492
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	予備費			計
	21	30,139	4,949	18,372				53,460
	22	29,360	5,690	17,376				52,426
	23	30,888	4,754	16,465				52,107
	24	28,074	5,571	25,112				58,757
25	29,074	5,866	22,152	400			57,492	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館国際観光コンベンション協会補助金
----------------	--------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明	
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本市の観光振興ひいては経済振興上多大な貢献があり、明確な公益性がある。	
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		上記の公益性に鑑み補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		会員の獲得、収益事業の充実に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当市が観光行政を遂行する上で、本団体は行政では対応できない部分を補完しており、補助によることが効果的である。	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	市の基幹産業である観光産業やコンベンション誘致等において行政と分業・連携しながら活動しており、市の観光振興行政にとって必要不可欠な団体であるため、当面継続して補助する必要がある。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	経費の節減に努めている結果でもあるが、事業の充実に努める。
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館国際観光コンベンション協会補助金
----------------	--------------------

## ○補助効果の検証

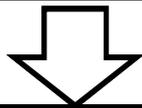
(効果測定方法, 具体的な数値等)

団体独自事業, 関係機関との連携事業など各種実施するなかで, それぞれの事業により参加者, 来客数, 誘致数, 満足度等効果を測定している。

(達成状況)

主な事業 (平成24年度) : 国内プロモーション, 海外プロモーション, 情報発信事業, 観光客・コンベンションのホスピタリティ推進事業, 観光施設整備事業

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 会員の獲得, 収益事業の充実を促しながら, 補助金の縮減に努める。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定) 平成27年度
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市学校給食会補助金	開 始 年 度	昭和58年度
----------------	-------------	------------	--------

団 体 名	函館市学校給食会
-------	----------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市立小・中学校において安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食用物資の調達・供給などを行っている。
目 的	(目 的) 函館市学校給食会による学校給食用物資の共同購入代行により、各学校における給食事務の軽減、良質で安価な物資の調達を図り、函館市の学校給食の同一水準での実施とその充実を図る。
・ 効 果	(効 果) 各学校において給食費の範囲内で良質かつ安価な食材を確保し、年間を通じて安全かつ安定的な学校給食の提供を図ることができる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	18,016				59	91	18,166
	22	17,151				6	95	17,252
	23	17,157				21	90	17,268
	24	16,772				31	103	16,906
	25	17,309					80	17,389
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費		計
	21	15,610	2,005			545		18,160
	22	14,817	1,874			540		17,231
	23	14,504	2,169			564		17,237
	24	14,448	1,851			553		16,852
25	15,042	1,790			557		17,389	

## 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市学校給食会補助金
----------------	-------------

### ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	学校給食会の「学校給食用物資の共同購入事務」は、本市の学校給食実施上、学校設置者である市もしくは学校給食会が行わなければならない業務であることから、非常に公益性の高いものである。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補助を廃止した場合、給食用物資の調達に大きな支障が生じるほか、市が物資の調達を実施する場合には、職員配置など人件費が大幅に嵩む。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	道教委から「学校給食会が営利行為を行える等法律で規定された団体でないので、会の運営費は補助金で措置するのが望ましい」との見解が示されており、これに沿った運営をしている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現状においては、学校給食会を活用することが最も合理的な手法である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

### ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないが、運営費は過去の実績と翌年の必要額を精査して積算している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	会の運営(人件費、運営費)に対する補助金であり、他の運営財源を持たないことから、必要な運営経費を全額補助している。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市学校給食会補助金
----------------	-------------

## ○補助効果の検証

<p>(効果測定方法, 具体的な数値等)</p> <p>実績報告により, 事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているかどうか確認し, 効果を測定する。</p>
<p>(達成状況)</p> <p>給食費の範囲内で良質かつ安価な食材の確保, 年間を通じた安全かつ安定的な学校給食の提供を図ることができている。</p>

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



<p>(評価)</p> <p>十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>一定の効果をあげている <input type="checkbox"/></p> <p>効果が疑問である <input type="checkbox"/></p> <p>その他 <input type="checkbox"/></p>	<p>(理由)</p>
--	-------------

## ○今後の方向性

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>現行のまま補助を継続</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>見直したうえで補助を継続</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>廃止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>その他</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	現行のまま補助を継続	<input checked="" type="checkbox"/>	見直したうえで補助を継続	<input type="checkbox"/>	廃止	<input type="checkbox"/>	その他	<p>(見直しの内容)</p> <p>安全かつ安定的な学校給食を提供する公益性の高い事業を担っている団体であることから, 引き続き補助する中で, 法人化など今後の団体のあり方を検討する。</p> <p>(見直しの時期)</p> <p>平成27年度</p>
<input type="checkbox"/>	現行のまま補助を継続								
<input checked="" type="checkbox"/>	見直したうえで補助を継続								
<input type="checkbox"/>	廃止								
<input type="checkbox"/>	その他								
<p>(廃止の理由)</p> <hr/> <p>(廃止の時期)</p>	<p>(その他の内容)</p>								

## ○終期の設定

終期設定	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>終期到来により廃止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>終期到来時に再検討</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	終期到来により廃止	<input checked="" type="checkbox"/>	終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
<input type="checkbox"/>	終期到来により廃止					
<input checked="" type="checkbox"/>	終期到来時に再検討					
平成27年度	平成27年度	平成27年度				

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市民憲章推進協議会補助金	開 始 年 度	昭和53年度
----------------	----------------	------------	--------

団 体 名	函館市民憲章推進協議会
-------	-------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市民憲章の普及・啓発
目 的	(目 的) 市民憲章の普及・啓発による市民生活の向上・市勢発展
	(効 果) 函館市民憲章は、昭和40年代の物質的な豊かさが急激に加速した高度経済成長期に、心の豊かさを醸成し、未来の函館の恒久的な発展を願い、街と市民の理想像を掲げたものである。 制定当時に比べ現在は、情報通信技術の発達等により、物質的な豊かさはさらに増しており、反面、心の豊かさは失われやすい状況にあることから、市民憲章に掲げる精神面の豊かさを醸成は必要性が増してきている。 このような時代背景の中、当該団体は、心の豊かさを育むには最も重要な時期であり、かつ、未来の函館を担うこととなる小・中学生を主なターゲットとし、市民憲章の普及啓発・実践を促す活動に取り組んでおり、その地道な取組は、現在のみならず将来的な市民生活の向上・市勢発展に寄与している。
・ 効果	

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		会 費	寄付金 (賛助金)	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	630	0	37	338	82	1	1,088
	22	630	0	4	339	81	1	1,055
	23	600	0	5	309	102	1	1,017
	24	600	0	0	305	182	1	1,088
	25	560	0	0	305	91	1	957
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費	予備費	計
	21	0	21	954	25	0	0	1,000
	22	0	19	906	25	0	0	950
	23	0	17	789	25	0	0	831
	24	0	83	869	40	0	0	992
25	0	33	885	25	0	10	953	

# 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市民憲章推進協議会補助金
----------------	----------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	<b>公益性</b> (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	市民憲章は、函館の恒久的発展を願い市民主導で策定された【街と市民の理想像】であり、まちづくりの土台かつ市民一人一人の精神的根幹をなす存在である。 当該団体は、この市民憲章の普及推進・実践を促す活動を担っており、その公益・公共的役割は非常に大きく、現在のみならず将来的な市民生活の向上・市勢発展にも寄与していくものである。
2	<b>必要性</b> (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民憲章の推進は、公益・公共性の高い事業であるとともに、現在の函館は昔に比べ、物質的な豊かさは増す反面、地域コミュニティの希薄化・急速な人口減少・地域経済の低迷など、閉塞感が漂い街の活気が失われつつあり、この状況を打開するためにも今一度「市民憲章」の精神に立ち返り、心の豊かさを育み、ひいては郷土に対する愛や誇りと責任を持った市民主体によるまちづくりを推し進めていかなければならないことから、市の補助が必要である。
3	<b>自主性</b> (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	内部努力により支出の削減に努めており、段階的な補助金の削減を行っている。(初年度(S53年度) 100万円, H23年度 60万円, H25年度 56万円)
4	<b>有効性</b> (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民憲章の推進は、行政が担う業務に近いが、街と市民の双方の理想を掲げており、行政と市民団体である会員、企業等の賛助会員も含めた官民一体での活動が最も有効と考えられるため、現行制度による補助が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	補助金の算定にあたっては、次年度の事業計画を適正に審査し、その収支不足相当額を補助することとしている。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	長引く景気低迷により、企業経営が悪化し、賛助金が年々減少している中、経常経費の節減等に努め、市補助金も当初に比べ半分程度に抑えるなど、その姿勢は評価できるが、今後もさらなる内部努力を指導していくものとする。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	補助金の支払時期を4月下旬～5月上旬に変更することで、団体の年度当初の資金不足を解消し、結果的に繰越金が生じないようにする。
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市民憲章推進協議会補助金
----------------	----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

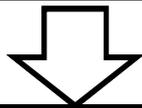
市民憲章の普及啓発・実践を促す活動を通じ、市民生活の向上・市勢発展に寄与することを目的としており、具体的には、心の豊かさを育むには最も重要な時期で、かつ、未来の函館を担う小中学生（その家族も含む）を主なターゲットとしている。なお、具体的な数値による効果検証は、心の豊かさを育てていく当該事業にはなじまないものであるため、出来るだけ多くの市民に、市民憲章を普及することを目標に事業実施している。

(達成状況)

平成24年度の主な事業実施状況

- ・はこだて市民憲章普及啓発「たこあげ大会」（高盛小学校）～親子約30名が参加。
- ・「市民憲章実践委嘱校」活動発表会（中島小学校）～保護者や近隣住民など約40名が参加したほか、NCVにて放映。
- ・市民憲章制定35周年記念事業として「市民憲章号」運行～約160名が乗車。
- ・市民憲章啓発物の配布による児童・生徒への啓発  
市内の小学4年生・6年生・中学2年生全員にオリジナルのポケットメモを配布。

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 市民憲章の推進については、官民一体で行うという考えのもと、協議会形式をとってきたところであるが、直営事業への振替も視野に入れたうえで、今後の協議会のあり方を検討する。 (見直しの時期) 平成25年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成25年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	
		平成28年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市交通安全推進委員会補助金	開 始 年 度	平成3年度
----------------	-----------------	------------	-------

団 体 名	函館市交通安全推進委員会
-------	--------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当会は、市、警察をはじめ交通安全関係団体が加盟する「交通安全事業推進母体」として運営されている組織で、各種交通安全啓発活動に要する経費について補助金を支出しており、市が主体となって行う啓発活動の経費のほとんどをまかなっている。
目 的	(目 的) 交通事故防止のために関係機関・団体が連携して行う各種啓発事業や市民参加による交通安全運動を円滑に推進するため。
・ 効 果	(効 果) 当会加盟の関係機関・団体および市民が参加して行われる交通安全啓発活動の継続的な実施により、交通事故防止が図られる。特に、高齢者の事故防止対策として重点的に取り組んでいる「夜光反射材普及活動」は着実に進んでいる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	賛助金等	計
		市	その他					
収	21	2,200	150		87	81	94	2,612
	22	2,200	150		87	47	97	2,581
	23	2,200	150		87	47	101	2,585
入	24	2,100			87	28	110	2,325
	25	2,100			87	24	98	2,309
	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	予備費		計
	21		63	2,382	120			2,565
支	22		73	2,342	120			2,535
	23		107	2,330	120			2,557
	24		100	2,083	120			2,303
出	25		169	2,010	120	10		2,309

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市交通安全推進委員会補助金
----------------	-----------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか)  ①広く市民生活の向上に貢献する事業  ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	函館市をはじめ警察および交通安全関係団体で構成される市長が会長を務める団体であり、これら関係機関・団体が連携して行う交通安全のための各種事業や市民参加による諸活動を推進しており、公益性は極めて高い。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当市の交通安全行政を推進するうえで、重要な役割を果たしており、引き続き本委員会の活発な活動を支えるため補助が必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	会員からの会費のほか本事業に賛同いただける企業等からの協賛金を確保するなど、財源確保に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民の安全は単なる業務委託等では確保は難しく、当該委員会を中心とした関係団体の地道な活動により守られるものであり、活動のための補助金が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	運営費補助であり、会から提出される収支予算書等における積算内訳を精査のうえ補助金額を決定している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	会費や協賛金などによる自主財源確保には限界があることから、今後も同様の支援を継続していきたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

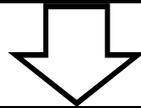
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市交通安全推進委員会補助金
----------------	-----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等) 函館市交通安全推進委員会をはじめ関係機関・団体が取り組む, 交通事故防止活動および交通安全啓発活動の継続的实施。
(達成状況) 地域住民の交通安全意識高揚のため, 各種運動を積極的に展開し, 交通安全思想の普及徹底を図り 交通事故発生件数等が減少した。 ■市等と共催で行った主な活動 ○春夏秋冬各期における街頭啓発, 赤灯車両駐留啓発, 交通安全旗の掲出 ○新入学児童をはじめ児童生徒および高齢者等への交通安全教室 ○自転車利用者への街頭啓発, 高齢者夜光反射材啓発 ほか ・函館市交通事故発生件数 平成14年 1,637件 → 平成19年 1,523件 → 平成24年 1,021件 ・函館市交通事故傷者数 平成14年 2,092人 → 平成19年 1,853件 → 平成24年 1,245人 ・函館市交通事故死者数 平成14年 13人 → 平成19年 9人 → 平成24年 1人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価) 十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	(理由)  事業効果を数値で測ることは困難であるが, 交通安全に関する広報・啓発等の有意義な活動を展開している。
---	--

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/>	現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 交通事故防止は, 交通安全関係団体等の協力による啓発事業を展開することが不可欠であり, 交通安全事業を推進する中核団体として, 今後も継続して助成する一方, 支出内容を精査のうえ経費節減を図るよう指導し, 補助金の縮減に努める。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	その他	
(見直しの時期) 平成25年度		(その他の内容)
(廃止の理由)		
(廃止の時期)		

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/>	終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成25年度	<input checked="" type="checkbox"/>	終期到来時に再検討	平成28年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市交通安全指導員会補助金	開 始 年 度	昭和49年度
----------------	----------------	------------	--------

団 体 名	函館市交通安全指導員会
-------	-------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	当会は、市民の交通安全確保に寄与することを目的に、ボランティアとして活動しており、これら活動に係る経費について補助金を支出している。
目 的	(目 的) 当会は、市民を交通事故から守るため、市等と一体となり交通事故防止に関する各種事業を展開している団体であり、同会の活動を支援することにより、交通安全運動の推進を図るため。
・ 効 果	(効 果) 各種交通安全啓発や街頭指導により、市民の交通安全意識の高揚と交通事故防止が図られるほか、函館港まつりや函館ハーフマラソン大会等の全市的なイベントや学校・地域行事の安全な運営に関し重要な役割を果たしており、各種イベントの安全運営計画には、当該指導員会の活動は欠かせないものとなっている。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収     入	21	5,700		1,384	624	1		7,709
	22	5,700		1,668	603	39		8,010
	23	5,700		1,228	573	40		7,541
	24	5,700		1,276	573	16		7,565
	25	5,700		1,150	558	24		7,432
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	予備費		計
	21		36	7,634				7,670
	22		41	7,930				7,971
	23		60	7,466				7,526
	24		60	7,483				7,543
	25		70	7,342			20	7,432

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市交通安全指導員会補助金
----------------	----------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか)  ①広く市民生活の向上に貢献する事業  ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民の交通安全確保に寄与することを目的にボランティアとして活動する交通安全指導員で組織されている団体であり、市等と一体となり交通安全指導、各種啓発活動を実践している。 ※道内の指導員がほとんど首長委嘱の公務員待遇である中、当市は純然なボランティアである。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市が推進する「安全で安心な街づくり」に大いに役割を果たしており、今後もその活動を支援する必要がある。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ボランティア団体であることから、自主財源確保には限界があり、引き続き支援する必要がある。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民の安全は単なる業務委託等では確保は難しく、当指導員会をはじめ関係団体の地道な活動により守られるものであり、活動のための補助金が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	毎年度、定期的な事業を行っているため、ほぼ例年同様の積算内訳となっているが、今後も経費節減に努めるよう指導する。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	運営費補助であり、会から提出される収支予算書等における積算内訳を精査のうえ、補助金額を決定している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	ボランティア団体であることから、会費などによる自主財源確保には限界がある一方、傷害・賠償責任保険料や被服・活動費用弁償等の最低限の予算確保は必要であり、今後も同様の支援を継続していきたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている(最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

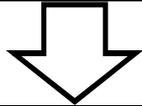
# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市交通安全指導員会補助金
----------------	----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
① 函館市交通安全指導員会をはじめ関係機関・団体が取り組む, 交通事故防止活動および交通安全啓発活動の継続的实施。 ② 交通安全指導員による交通指導活動が行われるイベント等での安全確保。
(達成状況)
① 地域住民の交通安全意識高揚のため, 各種運動を積極的に展開し, 交通安全思想の普及徹底を図り, 交通事故発生件数等が減少した。 ■主な活動: ○春夏秋冬各期における街頭啓発, 赤灯車両駐留啓発 ○自転車利用者への街頭啓発 ほか ※平成24年度交通安全啓発・広報活動指導員参加実績 延べ860人 ・函館市交通事故発生件数 平成14年 1,637件 → 平成19年 1,523件 → 平成24年 1,021件 ・函館市交通事故傷者数 平成14年 2,092人 → 平成19年 1,853件 → 平成24年 1,245人 ・函館市交通事故死者数 平成14年 13人 → 平成19年 9人 → 平成24年 1人 ② 交通安全指導員による交通指導活動が行われるイベント等での交通事故等は無く, 安全が確保された。 ■主なイベント: ○函館港まつり ○箱館五稜郭祭 ○函館ハーフマソン大会 ○学校祭 ○各神社初詣・お祭り ほか ※平成24年度交通指導活動指導員参加実績 延べ847人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価) 十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	(理由)
---	------

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 交通事故防止のため, 交通安全活動の実践団体である指導員会に対しては, 引き続き支援する一方, 高齢化による活動人員の減少に伴い, 活動経費減少が予測されることから, 今後, 補助金の縮減に努める。 (見直しの時期) 平成25年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成25年度		平成28年度

# 補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市女性会議補助金	開 始 年 度	昭和61年度
----------------	------------	------------	--------

団 体 名	函館市女性会議
-------	---------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市内の女性団体相互が連絡協調し、団体間の連携強化を図るとともに、男女共同参画社会の形成を目指したまちづくりのための研修会や講演会等を行っている。
目 的	(目 的) 函館市の女性団体が連絡協調し、女性団体活動を推進し、女性の自主性を高め、地位の向上を図るとともに、男女共同参画社会の形成を目指した本市のまちづくりに貢献する。
・ 効果	(効 果) 市内の女性団体相互の連絡と情報交換ができ、各団体間の連携のもとに組織の充実強化が図られ、その活動が地域の発展につながる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	450	0	284	27	48	67	876
	22	450	0	188	27	40	23	728
	23	450	0	182	27	44	16	719
	24	450	0	108	27	18	17	620
	25	450	0	150	21	37	1	659
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費	予備費	計
	21	0	100	625	111	0	0	836
	22	0	77	537	70	0	0	684
	23	0	37	589	75	0	0	701
	24	0	37	471	75	0	0	583
25	0	40	530	75	0	14	659	

# 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市女性会議補助金
----------------	------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか)  ①広く市民生活の向上に貢献する事業  ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館市の女性団体が連携し、女性団体活動を推進することにより、女性の自立性を高め、地位の向上を図るとともに、男女共同参画社会を目指した本市のまちづくりに貢献している。また、官民様々な分野の各種審議会・委員会などで委員として活動しており、あらゆる分野での男女共同参画の視点の重要性を発信している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	加盟団体相互の連携、組織強化のため補助は必要。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市の補助金のみではなく、他団体との共催や経費節減の視点で事業の実施方法を検討するなど、経費の削減を図りながら事業を実施している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	男女共同参画の推進にあたっては、行政の取り組みのほか、市民活動による普及啓発の取り組みが有効であり、当団体の女性団体活動は男女共同参画社会の実現のためまちづくりに寄与していることから補助することが必要である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	毎年度、定期的な事業を行っているため、ほぼ例年同様の積算内訳となっているが、収入については、自主財源の確保、支出については、目的を精査し、経費節減に努めるよう指導する。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	補助金の算定にあたっては、次年度の事業計画を適正に審査し、その収支不足相当額を補助することとしている。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	加盟団体が、今後大幅に増えるということは考えにくいですが、事業収入の増収や他団体との連携による事業の実施方法を模索してもらうほか、さらなる経費の節減に努め、1/2以内にするように団体に指導する。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市女性会議補助金
----------------	------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

- ・はこだて・女性大会
- ・研修・講習会 等 女性会議の補助事業等の実施状況

(達成状況)

○はこだて女性大会 平成24年10月25日(木) ロワジュールホテル函館  
 参集者: 構成団体会員103名  
 開催内容: 講演会「今だから知りたい!放射線のこと」(東京大学環境安全本部准教授)  
 ※NPO法人あすかエネルギーフォーラムとの共催

○防災学習会 平成24年11月9日(金) 函館市中央図書館  
 参集者: 構成団体会員・一般市民40名  
 開催内容: 講演会「あなた自身と家族, 本当に守れますか?女性&男性の視点で総合防災力アップ」  
 (東京女子館大学非常勤講師)  
 出前講座「函館市の災害対策と家庭や地域での取り組みについて」  
 (函館市総務部総務課防災担当)

※全国地域婦人団体連絡協議会との共催

○各種審議会・委員会(41会議)への委員登用・北海道女性団体連絡協議会や渡島地域の女性大会への出席のほか, 青森の女性団体との青函交流など他エリアとの女性団体との交流を図り, 連携強化に努めている。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/>	市内での会員向け・市民向けの男女共同参画の講演会や勉強会など, 男女共同参画社会を目指したまちづくりのための事業を実施しているほか, 官民各種の審議会等の委員として, 男女共同参画の視点の重要性を発信し, あらゆる分野での男女共同参画の実現に向けて日々活動している。
一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容)  事業費削減等の団体の内部努力により, 補助割合の見直しを検討する。
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(見直しの時期) 平成25年度	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成25年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成28年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	榎法華クリニック運営費補助金	開 始 年 度	平成14年度
----------------	----------------	------------	--------

団 体 名	医療法人社団清邑会 榎法華クリニック
-------	--------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則 ・榎法華クリニック運営費補助金交付要綱
-------------------------	----------------------------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	榎法華支所管内唯一の診療所（歯科診療所除く）である「榎法華クリニック」に対する医療関係機器および施設・設備等の保守点検業務等に係る経費
目 的	(目 的) 安定的・継続的に地域住民に対して地域医療を提供する体制の維持確保を図るため。
・ 効果	(効 果) 地域住民に対する医療提供体制の充実が図られ、地域医療の確保に貢献している。 (診療科目：内科・外科・消化器科・肛門科・皮膚科・リハビリテーション科)

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	1,916						1,916
	22	1,916						1,916
	23	1,916					16	1,932
	24	1,454						1,454
	25	1,454						1,454
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		244	1,672				1,916
	22		244	1,672				1,916
	23		244	1,688				1,932
	24		192	1,262				1,454
25		192	1,262				1,454	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	榎法華クリニック運営費補助金
----------------	----------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明	
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	無医村状態にあった榎法華地域に平成14年3月に開業。地域住民の高齢化率(38.9%)が高いこともあり、慢性疾患に対する医療の確保や予防に対応できる医療機関は当該地域に欠かさない。	
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		当該支所管内における唯一の診療所(歯科診療所除く)として、運営を支援する必要がある。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		毎年、当該医療機関と協議し、補助金の見直しを行ってきている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	補助以外の手法はなじまない。	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	補助要綱の規定により、補助率は設定せず診療業務に使用する設備の一部に対する補助としているため。なお、補助対象設備については診療所設備の一部となっており、今後も対象設備の見直しを進めていく。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	榎法華クリニック運営費補助金
----------------	----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
榎法華クリニック受診者数
(達成状況)
榎法華支所管内の人口減少・高齢化が進むなかで, 当該クリニックの利用人員は高い水準を維持しており, 過疎地域における医療のセーフティーネットとしての機能を果たしている。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(見直しの時期)	
平成27年度	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市子どもの生活を考える会連絡協議会補助金	開 始 年 度	昭和58年度
----------------	------------------------	------------	--------

団 体 名	函館市子どもの生活を考える会連絡協議会
-------	---------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	昭和53年に全国の少年非行・補導率は戦後最悪となり、非行の低年齢化や校内暴力、いじめによる自殺が急増し、函館中央警察署などと連携して問題解決を図る中で、昭和57年、非行防止は子どもの生活の場である家庭、学校、地域の協力が必要として、3者が地域ぐるみで子どもの健全な成長を促す「函館市子どもの生活を考える会」を発足させ現在に至る。 以来、3者が一体となって年間計画に基づき情報交流や連絡協議等のテーマに沿った取り組みで連携を深め、青少年の非行防止と健全育成を推進している。
目 的	(目 的) 青少年の非行防止と健全育成の推進のため、「子どもたちに地域の一員として自覚を培う」をねらいとし、子どもの安心・安全な環境づくりのため創意工夫を凝らした活動を進める。
・ 効果	(効 果) セーブサポート運動や地域パトロール等の安全に対する取り組みが定着してきており、学校、家庭、地域の連携が一層深まってきた。さらに、近年は「いじめ問題」について地域ぐるみで考え、全体講演会等により課題の共有化が図られてきている。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収    入	21	840	80		156			1,076
	22	840	80		156			1,076
	23	840	0		150			990
	24	750	0		150			900
	25	605	0		150			755
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		195	881				1,076
	22		199	877				1,076
	23		207	783				990
	24		394	506				900
25		194	561				755	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市子どもの生活を考える会連絡協議会補助金
----------------	------------------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	青少年の非行防止と健全育成の推進のため、学校、保護者、地域住民等が一体となって8つのブロック毎に年間計画に基づき情報交流や連絡協議、テーマに沿った取り組みを推進し、連携を深めている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	青少年の非行防止と健全育成に向けた地域一体の取り組みを推進するため、補助は必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	経費の節減を図るなど、効率的な運営に努めているが、補助金なしでは事業実施が困難である。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	団体の自主性を尊重するため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	その年々により、「震災」、「携帯電話」、「いじめ」など急な対応が求められる場合があるが、活動内容や収支状況を精査するなかで、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	収入のうち相当割合が市補助金となっていることから、今後、財源確保や経費節減などについて、同会と協議を進める。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市子どもの生活を考える会連絡協議会補助金
----------------	------------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

市全体やブロック毎に「いじめ」、「防災」、「携帯電話」などのテーマで講演会を行うなど、直面している課題に取り組み、青少年の健全育成に効果を上げているが、その効果を具体的な数値にすることは困難であるため、実績報告により、活動内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し、効果を検証する。

(達成状況)

平成24年度活動内容  
 <全市一斉活動>  
 ・セーブサポート運動の推進  
 ・全体交流会 (ア)講話「地域ぐるみでいじめを考えるために」(イ)各ブロック活動の意見交換  
 <各ブロックの活動>  
 会報発行、巡視活動、交通安全指導、奉仕活動、教育講演会等の開催など

○学校・家庭・地域の相互連携のもと、青少年の健全育成や安全確保の環境づくりに効果をあげている。

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。

	(評 価)	(理 由)	
	十分効果をあげている	<input type="checkbox"/>	本事業の推進・向上を図るため、加入者が減少傾向である町会について、今以上に自主的な参加を促す仕組みづくりが必要である。
	一定の効果をあげている	<input checked="" type="checkbox"/>	
	効果が疑問である	<input type="checkbox"/>	
その他	<input type="checkbox"/>		

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続		(見直しの内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続		これまでも見直しをしてきた補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、積算基準額を明確にする。
<input type="checkbox"/> 廃止		(見直しの時期)
<input type="checkbox"/> その他		平成27年度
(廃止の理由)  (廃止の時期)		(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市子ども会育成連絡協議会運営事業補助金	開 始 年 度	昭和39年度
----------------	-----------------------	------------	--------

団 体 名	函館市子ども会育成連絡協議会
-------	----------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館市内の子ども育成者組織の連合体として、子ども会活動の育成に関する事業を行う
目 的	(目 的) 青少年の健全育成のため。
・ 効 果	(効 果) 子どもの社会生活の順応、特に「自立」「協調」「奉仕」の精神を涵養し、情緒豊かな人格形成を目的とした子ども会活動を推進するとともに、会員・育成者の資質向上が図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	1,190		28	222	10	78	1,528
	22	1,600		47	214	53		1,914
	23	1,600		54	183	71	1	1,909
	24	1,500		45	161	1	2	1,709
	25	1,500		60	178	47	7	1,792
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		116	1,286	73			1,475
	22		124	1,641	78			1,843
	23		125	1,704	78			1,907
	24		157	1,431	73			1,661
25		123	1,596	73			1,792	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市子ども会育成連絡協議会運営事業補助金
----------------	-----------------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館市内の子ども会育成組織の連合体として、子ども会活動の育成に関する事業を行い、子どもの社会生活に必要な徳性の涵養および健全育成に寄与している。 さらには、子ども会不加入の子どもが参加可能な青函子ども会交流も実施しており、広く子ども達の健全育成に奇与している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	教育問題の深刻化が進む社会情勢にあって、地域の果たす役割はますます重要性を帯びており、当該団体の地域活動は大いにその役割を果たしている。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	当該団体は、平成20年に活動のより一層の充実を図ること等を目的にNPO法人化をするなど、自主的な活動を続けているところであるが、全国的な少子化傾向にあり、会費等の大幅な増加の見込みはなく、経済基盤は極めて弱い中において、青少年にとって最も身近な地域活動を行うには補助金の継続が不可欠である。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域における子ども達の育成を期待するものであり、補助の形態が望ましい。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	平成24年度に見直しを行ったが、その後、定額の補助金額で継続しているため、今後、補助対象経費の見直しを図り、積算基準額を明確にする。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	当該団体の事業は、ほぼ本市からの補助金により賄われている状況にあるが1/2を団体が負担することは、性質上困難である。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市子ども会育成連絡協議会運営事業補助金
----------------	-----------------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等)

年間の事業活動の実施により、地域におけるまちづくりの活性化や青少年の健全育成が図られている。  
また、育成者、指導者、ジュニアリーダー、シニアリーダーが実践や研修を重ねることで、市子連、各地区子連、単位子ども会の活動が相乗的に充実している。

(達成状況)

- ・青函子ども会交流 9月 (20名)
- ・各地区スポーツ交流大会 11月 (47名)
- ・各地区による地域活動 (通年)
- ・ジュニアリーダー育成研修 7月, 1月 (12名)
- ・指導者研修会 2月 (43名)
- ・各地区子ども会交流 かるた大会 1月
- ・広報紙の発行

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 平成24年度に見直しをした補助金であるが、補助金交付先団体の収支状況を再確認し、補助金の縮減に努めるとともに、補助対象経費の見直しを図り、積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館子ども歌舞伎運営補助金	開 始 年 度	平成16年度
----------------	---------------	------------	--------

団 体 名	函館子ども歌舞伎後援会
-------	-------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館子ども歌舞伎の公演・発表を支援し、その充実と発展を図り、郷土の伝統的芸能芸術の振興と醸成に努めている。
目 的	(目 的) 日本の伝統芸能のひとつである歌舞伎を次代を担う子どもが習得し、演ずることにより、歌舞伎を継承・発展させるとともに、子供たちの芸術や文化に関する理解を深め、豊かな人間性を形成するなど青少年の健全育成に寄与する事業であるため。
・ 効 果	(効 果) かねてから評判の高い函館子ども歌舞伎が着実に地域に根付き、本市独自の独創的な文化として全国に発信し、本市の文化水準を引き上げ、文化の香るまちづくりに貢献するほか、子供たちが豊かな心を養い、伝統文化への理解を深め、生きる力を育み情操豊かな調和のとれた人間性を培うことが期待される。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	1,000	575		793	912	1	3,281
	22	1,000	324		807	519	1	2,651
	23	1,000	1,900	4,904	723	278	1	8,806
	24	900	100		693	80		1,773
	25	900			635	15	117	1,667
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑 費	予備費	計
	21	360	531	1,800		71		2,762
	22	360	851	1,100		62		2,373
	23	360	286	8,065		15		8,726
	24	240	611	900		7		1,758
25	240	472	900		30	25	1,667	

# 補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館子ども歌舞伎運営補助金
----------------	---------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか)  ①広く市民生活の向上に貢献する事業  ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子どもたちが古くから伝わる伝統芸能の素晴らしさに触れ、演舞することを通じて継承・発展に努めている。演ずる子どもと支える大人が一体となり、歌舞伎公演の開催や稽古の市民公開など、子どもから高齢者まで広く伝統芸能に触れる機会を与え市民生活の向上に貢献している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	演ずる子どもと支える大人が一体となって伝統芸能を継承・発展、さらには後継者育成にも貢献するものであり、円滑な事業運営を図るため補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業運営にあたっては、会員増による会費収入の確保にも力を入れているが、収入の多くが補助金となっている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	伝統芸能の普及・振興という団体の性質上、市が主体となって運営することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	収入の相当割合が市補助金となっていることから、事業内容の見直しなどについて団体と協議を進める。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	会費収入が減少していることから、子ども歌舞伎の公演などを通じ、伝統芸能への市民理解を深め、会員増を図るなどの自主財源の確保策について団体と協議する。
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館子ども歌舞伎運営補助金
----------------	---------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

効果の測定については, 補助金の性質が運営費補助であり, 事業費補助のような入場者数の計測など, 目に見える具体的な数値等で示すことは困難であるため, 補助事業計画が適正に実施されていたか検証する。

※自主公演 (隔年: 次回公演 平成25年度)

(達成状況)

平成24年度は, 歌舞伎公演を通じ, 子どもたち一人ひとりが稽古に励み, たゆまぬ努力の成果を得られた。伝統文化を継承する心を涵養し, 函館市の文化芸術の発展と振興が図られ, 全国的に高く評価され, 函館市独特の創造的な文化として全国に発信することができた。

※主な活動 合同練習 (19回), 定期総会 (45名参加), 会報の発行,  
公演活動 (函館市制施行90周年祝賀会, 第20回市民のつどい, 北斗市公演)

(参考) 自主公演  
第9回函館子ども歌舞伎 (平成23年9月18日 市民会館大ホール) 観覧者: 1,120人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

↓	(評価)	(理由)
	十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/>	現行のまま補助を継続	(見直しの内容)  平成24年度に見直しをした補助金であるが, 補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。  (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/>	見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/>	終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/>	終期到来時に再検討	
			平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市体育協会運営補助金	開 始 年 度	昭和 44 年度
----------------	--------------	------------	----------

団 体 名	函館市体育協会
-------	---------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	市内スポーツ団体を統括し、競技スポーツの強化事業や競技会の開催支援事業など、加盟団体に対する各種支援事業等を行っている。
目 的	(目 的) 加盟団体に対する各種支援事業やスポーツ関係者の表彰事業等を実施している体育協会へ運営補助することにより、本市スポーツの振興に資するとともに、今後より一層の運営活発化を促進する。
・ 効果	(効 果) 各種事業の開催や全道・全国規模の大会が本市で開催され、競技団体の選手強化や競技力の向上が図られているほか、市民の体育・スポーツへの関心が高まるなど、生涯スポーツの振興に寄与している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収     入	21	14,000			420	975	750	16,145
	22	14,000			420	1,261	226	15,907
	23	14,000			410	771	244	15,425
	24	14,000			410	759	246	15,415
	25	14,000			410	761	241	15,412
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21	5,240	2,912	6,732				14,884
	22	5,453	3,244	6,439				15,136
	23	5,392	3,371	5,903				14,666
	24	5,522	3,136	5,996				14,654
25	3,400	3,139	8,873				15,412	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市体育協会運営補助金
----------------	--------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	当協会は市内41の競技スポーツ団体などを統括し、競技力向上のため多様なスポーツ事業の実施や、優秀な指導者の育成等、本市の競技スポーツの普及・振興を図っていることから公益性が認められる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市の補助金が総事業費の90%を占めているため、今後も財政基盤の確立のための自主財源の確保について指導をしながら、財政支援を続ける必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平成22年度からNPO法人となり自主・自立の動き出しは見えてきているが、現段階では自主財源となる適当な事業がないため、運営経費の縮減を図るなどの内部努力を行っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	団体の性質上、市が直接運営できないことから、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	平成8年に事務局独立と事業拡大を目指し、市が支援強化を図ってきたが、自主財源の確保までには至っていない。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市体育協会運営補助金
----------------	--------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

実績報告により, 事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し, 効果を検証する。

---

(達成状況)

各種スポーツ団体の統括, 援助等, 当協会の指導により41加盟団体が積極的に各種事業を実施することにより, 本市のスポーツ振興が図られるとともに, スポーツ健康都市宣言の趣旨に添った活力あるまちづくりが促進されている。

**【各種事業内容】 ※カッコ内の件数は平成24年度の実績件数**

- ・著名人による講習会等の特別支援事業 (3件) ・体験教室等の市民スポーツ推進事業 (19件)
- ・合宿等の選手強化事業 (14件) ・審判講習会等の指導者研修事業 (17件) ・大会開催事業 (7件)

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

<p>(評価)</p> <p>十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>一定の効果をあげている <input type="checkbox"/></p> <p>効果が疑問である <input type="checkbox"/></p> <p>その他 <input type="checkbox"/></p>	<p>(理由)</p>
--	-------------

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	<p>(見直しの内容)</p> <p>補助金交付先団体の収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 補助対象経費の見直しを図り, 積算基準額を明確にする。</p> <hr/> <p>(見直しの時期)</p> <p>平成27年度</p>
<p>(廃止の理由)</p> <hr/> <p>(廃止の時期)</p>	<p>(その他の内容)</p>

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	南茅部大漁太鼓保存会補助金	開 始 年 度	昭和53年度
----------------	---------------	------------	--------

団 体 名	南茅部大漁太鼓保存会
-------	------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	本団体は、新たに創始した郷土芸能を保存・伝承する団体として、意欲的な創作活動 を続けるなど町の代表的な芸能となっており、その公開や伝承活動などを行っている。
目 的	(目 的) 太鼓の練習・披露を通じて、会員相互の親睦と太鼓技術の向上を図り、地域文化の発 展、郷土芸能の伝承に寄与する。
・ 効 果	(効 果) 太鼓を披露して地域行事に協力しているほか、地元小学生に太鼓演奏を指導すること により、青少年の健全育成と後継者育成に貢献し、地域文化の振興、郷土芸能の発展に 寄与している。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収    入	21	51			6	32		89
	22	51			6	10		67
	23	51			6	11		68
	24	45			6	10		61
	25	45			24	1		70
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑 費	予備費	計
	21		3	75		1	0	79
	22		3	52		0	1	56
	23		0	57		0	1	58
	24		0	60		0	0	60
25		15	50		5	0	70	

## 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	南茅部大漁太鼓保存会補助金
----------------	---------------

### ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>   <input checked="" type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	地域行事での公演活動や子どもへの太鼓演奏の指導など、地域文化の発展と郷土芸能の伝承に貢献している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新たに創始した郷土芸能であるが、創作活動を続けるなど地域の代表的な芸能となっており、その公開や伝承活動を支援する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	小・中学生への積極的な指導により、後継者の育成と会員の増に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市が主体となって運営はできないため、補助金を支出し活動を支援することが適当である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

### ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	南茅部大漁太鼓保存会補助金
----------------	---------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
本補助事業の効果は地域文化の振興や郷土芸能の伝承であるため, 効果の測定や具体的な数値を計上することは難しいが, 実績報告により, 事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し, 効果を検証する。
(達成状況)
磨光小学校児童指導・運動会公演時補助, 尾札部稲荷神社祭典における公演補助, 後継者育成活動のほか, 太鼓を通じて地域文化の発展, 郷土芸能の伝承に寄与し, 会員相互の親睦と太鼓技術の向上および地元小学生に太鼓演奏を指導することにより, 青少年の健全育成と後継者育成に効果をあげている。
(参考) H24年度 会員数6名 ・JR北海道函館支社「北海道新幹線開業イベント」出演 ・磨光小学校学芸会子ども太鼓演奏披露・指導



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
一定の効果をあげている <input type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容)  積算基準の設定や類似団体との補助金統合による補助割合の見直しについて検討する。  (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	恵山つつじまつり開催補助金	開始 年 度	昭和43年度
----------------	---------------	-----------	--------

団 体 名	恵山つつじまつり実行委員会
-------	---------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	イベント ・海鮮特産品即売会 ・キャラクター・ものまねショー・歌謡ショー
目 的	(目 的) 恵山地域の春を告げるイベントとして観光PRの誘致をし、地域の活性化を図る。
・ 効 果	(効 果) まつり開催期間中の16日間で33,658人の入込み数があり、恵山地域で年内最高の集客数で地域の活性化と発展に寄与した。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収    入	21	2,600		391		1		2,992
	22	2,600		350		8		2,958
	23	2,600		209		6		2,815
	24	2,600		217		4		2,821
	25	2,600		300		6		2,906
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21			2,984				2,984
	22			2,952				2,952
	23			2,811				2,811
	24			2,815				2,815
25			2,899				2,899	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	恵山つつじまつり開催補助金
----------------	---------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明	
1	公益性 (明確な公益性があるか)  ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	観光客誘致を行い、地域の活性化に貢献している。	
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		地域活性化の減退が抑制される。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		自主財源の確保に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業の性質的に市が委託にて行うものではないため現在の方法が最適である。	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	過去の実績積算，見積り依頼をしている。今後は積算内訳書を明確化する。
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていない。今後は積算基準を策定する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	補助率は1/2以上である。今後は補助率を1/2以下になるよう検討する。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	恵山つつじまつり開催補助金
----------------	---------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
○測定方法 まつり開催期間中の恵山登山車両台数とイベント日入場者数をカウント	
・車両台数	登山道入口にセンサーを設置して通過車両を測定し, 1台につき乗車人数割合 (道の駅レジカウント数/道の駅駐車台数) を乗じてカウント。
・イベント日入場者数	会場入口の人感センサー設置 ○具体的な目標値 30,000人 (前年度実績ベース)
(達成状況)	
平成25年度実績	
・まつり期間中来場者数	33,658人 昨年度対比 (△ 12,878人)
・イベント日入場者数	2,333人 (△ 4,056人)
※入込み数の減少は, 昨年度よりつつじの開花が遅れたためと考えられる。	

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/>	恵山地域における観光客誘致により, 地域活性化に一定の効果をあげている。
一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/>	現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 事業内容の見直しや自主財源の確保により, 補助割合の見直しを検討する。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	その他	
(見直しの時期) 平成27年度		(その他の内容)
(廃止の理由)		
(廃止の時期)		

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/>	終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/>	終期到来時に再検討	平成27年度

# 補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	南かやべひろめ舟祭り開催補助金	開始 年度	平成17年度 (昭和61年度)
----------------	-----------------	----------	--------------------

団体名	南かやべひろめ舟祭り実行委員会
-----	-----------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	舟漕ぎ競争, 中学校合同吹奏楽演奏会, 漁火パレード, 郷土芸能発表会, ひろめソーラン踊り, 歌謡ショー, 花火, PR昆布無料配付, 浜鍋, 縄文伝統文化コーナー
目 的	(目 的) 市民の心のふれあいの場として, 郷土の歴史や芸能に親しみ, まちの良さを認識する市民総参加の祭りを行うことを目的としている。
・ 効果	(効 果) 地場産品と観光PR, 資源を与えてくれる「海に感謝」, 漁獲された「魚の供養」, 漁業に必要な「漁港への感謝」の性格を保ち, まちの活性化に貢献している。

## ○補助事業の収支状況

(単位: 千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	協賛金	繰越金	雑入	計
		市	その他					
収     入	21	4,600		286	2,890	617	1	8,394
	22	4,500		298	2,433	399	5	7,635
	23	4,500		330	2,485	145	5	7,465
	24	2,134		0	1,255	325	1	3,715
	25	4,500		291	2,970	0	64	7,825
支     出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21		82	7,903	10			7,995
	22		50	7,431	10			7,491
	23		38	7,092	10			7,140
	24		40	3,665	10			3,715
25		49	7,382	10			7,441	

# 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	南かやべひろめ舟祭り開催補助金
----------------	-----------------

## ○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ひろめ舟祭りは、南茅部地域住民の心のふれあいの場として、郷土の歴史や芸能を親しむことと地域の良さを再認識し、地場産品のPR・販売活動ができる「観光文化のある地域」としての一役を担い、市全域参加型のイベントとしては函館港祭りに次ぐ地域最大のイベントで、今後においてもより一層の発展を図ることを目的としている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	観光や地場産品のPRなど、地域活性化の起爆剤としての役割を果たしており、市としても過疎地域の振興を図る上で積極的に推進すべき事業である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	毎年度イベント内容の検討を図ると共に、協賛社の確保に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市の直轄事業でないことから、委託や負担金の形態はそぐわない、また、地域民間団体で実行委員会を組織し、住民参加型のイベントとして自主的に財源を確保しながら事業を実施していることから、補助金による支援の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていない。 今後は積算基準を策定する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	自己財源確保のため新規協賛社の確保に力をいれているが、景気の変動等により思うように協賛金が確保できない状況である。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

# 補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	南かやべひろめ舟祭り開催補助金
----------------	-----------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
▼測定方法: 午前・午後の最高入り込み時に, おおよその入場者をカウント	
▼目標数値: 延べ4, 000人	
(達成状況)	
▼平成23年度実績	延べ8, 000人
▼平成24年度事業	海難事故により中止
▼平成25年度事業	延べ8, 000人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/>	地域観光客の増および地場製品のPRに効果をもたらすとともに, 地域住民をはじめ盛漁期を迎える漁業者等に活力の向上が図られている。
一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 事業内容の見直しや自主財源の確保により, 補助割合の見直しを検討する。 (見直しの時期) 平成27年度
<input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	
		平成27年度